

2018年(平成30年)年度 第4回 相談支援体制に係るワーキンググループ活動報告

日 時	2018年12月12日(水) 14:30~16:00
場 所	寒川町役場 本庁舎2階 災害対策本部室
出席者	中野委員、牧野(賢)委員、小川原委員、石川委員
事務局	障がい福祉課(千野、竹内) すまいる(内藤) ゆいっと(佐藤、齋藤)

議事

本日のワーキングまで座長中野委員という形で実施。今年度のつながり企画の振り返りと、ワーキングの総括を行う。

1. つながり企画を振り返って

①自治会連合会とのつながり企画

【成果・効果】

- ・自治会の障がい者への意識の高さがうかがえ、受け止めの気持ちがあることわかった。
- ・自治連の方からも課題提起があり、対応策の検討や具体的対策まで動きが繋がった。

【課題】

- ・自治連(自治会)への発信をどうしていくか(内容や具体性)、当事者や家族を知ってもらう努力
- ・つながりの継続性をどのように図るか

②教育関係とのつながり企画

【成果・効果】

- ・教育関係者、保護者への情報不足があることがわかった
- ・保護者支援の困難さがある

【課題】

- ・家族支援の脆弱さ
- ・子育て機関と教育機関との連携の希薄さ

③民生員とのつながり企画

【成果・効果】

- ・今後も共有の場を作っていくことで同意した
- ・勉強会等の依頼もあった

【課題】

- ・ケース検討やお題を決めての討議形式等、どのような規模で行っていくか

2. 相談支援体制に係るワーキングの活動総括

障がい福祉制度、サービス以外の関係機関・団体等との関係構築および連携強化を図るため、周辺機関・団体、事業所等へのアンケートを実施し、その意見をもとにつなげる機会を設ける取り組みを行った。成果、課題については上述の通りで、この課題への取り組みは一定の役割を終え、このメンバーでのワーキングを閉じたいと考えている。

今後の取り組み内容(課題解決)については、協議会の中で協議いただくことに合わせ、ワーキングメンバーの選考、ご意見を頂戴したい。